

令和5年6月

6月の父の日とクールビズの起源

今年の5月は梅雨を飛ばして夏がやってきてしまいそうな真夏日が多く、四季を感じる事が少なくなりました。

5月は母の日に大谷翔平がピンクのソックスを履くなど、米国も日本も母の日が共通していることを知りましたが(大リーグでは、日本時間に合わせた日に履いています)、6月は父の日があります。父の日の由来は、米国での父ウィリアムが、妻の死後、男手1つで6人の子どもを育てあげ全員が成人するのを見届けた後、亡くなったと言われています。娘のドッド夫人は父ウィリアムの死後、父の誕生月であった6月に、教会に依頼して礼拝を行ってもらいました。

以降、アメリカ国内で既に始まっていた「母の日」とは別に、ドッド夫人は「父の日」の制定を牧師協会などへ懇願し 1916年には当時の大統領が教会を訪れ、演説を行ったことから「父の日」が広がりを見せ、「母の日」同様、やがてアメリカ全土に知れ渡るようになり、1972年には正式な祝日として制定されました。

ドッド夫人が、父の墓前に白いバラを供えたことから、「父の日」の花はバラとされており、「母の日」と同じく「父が他界している場合は白いバラ」「父が健在であれば赤いバラ」を身に付けるようになったと言われています。

なお日本では、昭和25年(1950年)頃から徐々に広がりを見せ、現在のように一般的な行事として認知されるようになったのは、1980年代と言われています。

ところで、日本と同じ「母の日は5月・父の日は6月」となっている代表的な国は、アメリカ、カナダ、中国、シンガポール、ペルー、チリ、コロンビアなどですが、台湾の父の日は8月8日で「パパ」と「八八(数字)」の発音が同じであることに由来しています。



さて「クールビズ」についてですが、企業によっては6月から開始されているところもありますが、最近では5月開始の企業も多いのではないのでしょうか。冷房電力の抑制の面もありますが、2005年、当時の小泉純一郎首相が小池百合子環境大臣に働きかけたことにより始まっています。環境省が想定するクールビズの実施期間は、原則として6月1日から9月30日までの4ヶ月間で、いわゆる衣替えの時期と同一でしたが、東日本大震災により深刻な電力不足に直面した2011年・2012年は、5月1日から10月31日までの半年間で実施したことから、このように5月開始の制度が定着したともいわれています。